

【修士論文評価項目】

1. 各専門分野,あるいは学際領域において学術的・社会的に一定の貢献ができる内容を含み,新規性,独創性,有用性のいずれかが示されていること。
2. 各専門分野,あるいは学際領域における先行研究を適切に踏まえ,研究の位置づけが明確にされていること。
3. 研究方法が明確かつ適切であり,具体的に記述されていること。
4. 内容の記述や展開が論理的であり,説得力があること。
5. 文献の引用も含め研究倫理の問題に対して十分に留意がなされ,学術論文として体裁が整っていること。

【修士論文評価基準】

上記 1~5 の評価項目のすべてを満たすものを学位論文として認める。

【博士論文評価項目】

1. 各専門分野,あるいは学際領域において学術的・社会的に貢献できる内容を含み,新規性,独創性並びに有用性が示されていること。
2. 各専門分野,あるいは学際領域における先行研究を適切に踏まえ,研究の位置づけが明確にされていること。
3. 研究方法が明確かつ適切であり,具体的に記述されていること。
4. 内容の記述や展開が論理的であり,説得力があること。
5. 文献の引用も含め研究倫理の問題に対して十分に留意がなされ,学術論文として体裁が整っていること。

【博士論文評価基準】

上記 1~5 の評価項目のすべてを満たすものを学位論文として認める。